

2023年7月24日

報道関係各位

東京建物株式会社

中野セントラルパーク リユース可能な容器シェアリングサービスの実証実験実施 キリンホールディングス、丸井グループ、カマンと共同でテイクアウト容器の廃棄を削減

東京建物株式会社（本社：東京都中央区、代表取締役 社長執行役員 野村 均、以下「東京建物」）、キリンホールディングス株式会社（本社：東京都中野区、代表取締役社長 磯崎功典）、株式会社丸井グループ（本社：東京都中野区、代表取締役社長 青井浩）の3社は、国内の廃棄プラスチック問題解決に向け、中野セントラルパーク（東京都中野区）において、株式会社カマン（本社：神奈川県鎌倉市、代表取締役 善積真吾、以下「カマン」）のリユース容器を活用した容器シェアリングサービスの実証実験を7月24日（月）～7月28日（金）に実施しますので、お知らせします。

当実証実験は、カマンが提供するリユース容器 Megloo（メグルー）を、中野セントラルパークに出店するキッチンカーのテイクアウト容器と置き換えることで、使い捨てのテイクアウト容器の廃棄を減らすことを目的とした取り組みです。実証実験では、キリンホールディングス本社が入居する中野セントラルパークサウス前にリユース容器 Megloo の回収ボックスを設置し、回収ボックスに返却されたリユース容器 Megloo をカマンが回収・洗浄した後、再度キッチンカーに提供し繰り返し使用します。



リユース容器 Megloo の回収ボックス



リユース容器 Megloo の提供イメージ

中野セントラルパークに出店するキッチンカーは、直近3ヶ月で1日あたり平均443人と多くの方にご利用いただいています。今回の中野セントラルパークにおける実証実験には合計35台のキッチンカーが参画予定で、実験期間中には、約3割の方にリユース容器 Megloo を利用いただき、テイクアウト容器の廃棄を約3割減らすことを目指します。キッチンカーの利用者には、当実証実験に参加いただくことで、身近な食を通じた持続可能な資源循環への貢献を実感いただけると考えています。

東京建物グループは、マテリアリティ（事業との関連性が高い重要課題）の一つとして「循環型社会の推進」を特定しており、廃棄物の削減や資源の有効活用などの取り組みを推進してまいりました。今後もさまざまな事業活動を通し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

■中野セントラルパークについて

中野四季の森公園を含む約3.0haの開放的な緑地空間を囲うように、オフィスを中心に商業・賃貸住宅・コンベンションホール・貸会議室等を集積させた複合施設です。

2012年の全体竣工以来、さまざまなイベントを実施しており、平日・休日を問わず多くの方にご利用いただいています。

中野セントラルパーク HP : <https://www.nakano-centralpark.jp/>



中野セントラルパーク



キッチンカー出店の様子

<ご参考>

- ・リユース容器 Megloo のサービス概要
<https://megloo.jp/>
- ・東京建物のサステナビリティに関する取り組み
<https://www.tatemono.com/csr/>

【SDGs への貢献】

※本リリースの取り組みは、SDGs（持続可能な開発目標）における下記目標に貢献しています。



以 上